

SHARP®

1ビットアンプ

エス エム エス エックス
形名 **SM-SX10**

取扱説明書



1-BIT TECHNOLOGY



はじめに

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ご使用前に、「安全に正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。

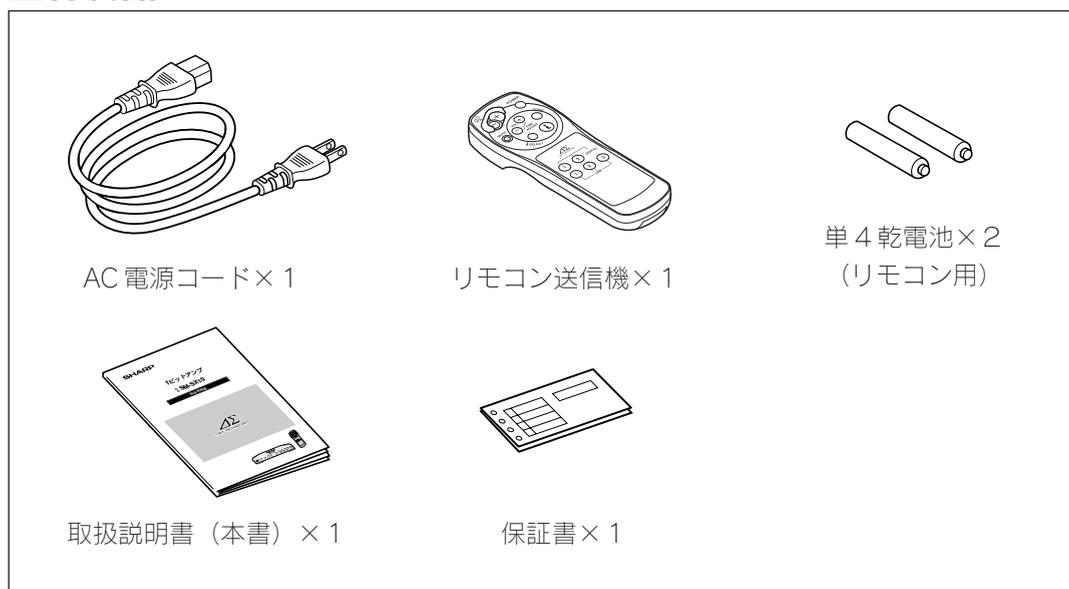
この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができる所に、必ず保存してください。

目次

(ページ)

安全に正しくお使いいただくために	4
各部の名称と働き (前面)	9
各部の名称と接続 (背面)	10
各部の名称と働き (リモコン)	12
i.LINK (AUDIO) 機器の使いかた	13
「故障かな?」と思ったら	16
使用上のご注意	17
お手入れ/仕様	18
保証とアフターサービス	18
お客様ご相談窓口のご案内	19

付属品



カタログおよび包装箱などに表示されている形名の最後のアルファベットは、製品の色を示す記号です。色は異なっても、操作方法や仕様は同じです。

ご注意

付属の電源コードは本機専用です。他の機器に使用しないでください。

他の機器に使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

■ 1ビットアンプ増幅プロセス

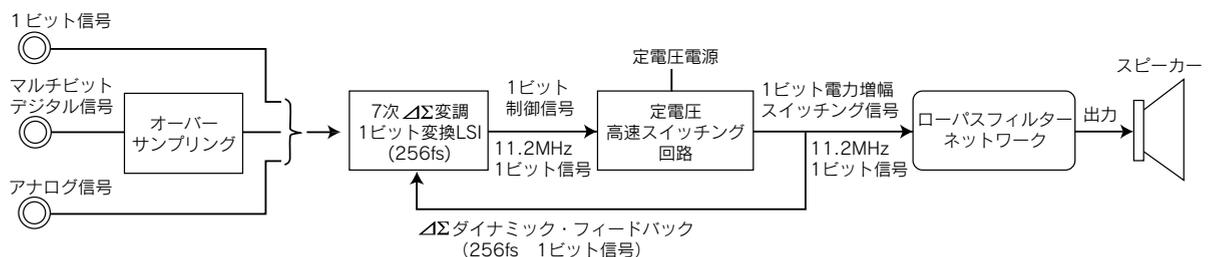
この製品では、1ビット信号を制御信号として、定電圧電源を水晶精度のタイミングで1ビットのままスイッチングすることにより、1ビット信号の性能を維持したデジタルでの増幅を実現しています。さらに、『 $\Delta\Sigma$ ダイナミック・フィードバック』の概念を取り入れ、音声信号に悪影響を与える電源電圧の変動を、『7次 $\Delta\Sigma$ 変調1ビット変換LSI』に1ビット信号でフィードバックし、リアルタイムに1ビット制御信号を補正することにより、原音により忠実な極めて安定した増幅を可能にしています。

入力された音声信号は、 $\Delta\Sigma$ 変調回路により、約11.2MHz(256fs)で高速サンプリングされ、原音の情報を忠実に保存した、約11.2MHz(256fs)パルス幅の1ビット信号列に変換されます。

この7次 $\Delta\Sigma$ 変調ブロックでは、量子化ノイズを高域に押し上げ、再生帯域内での高S/N比を確保した1ビット信号が生成されます。

この信号を制御信号として、定電圧高速スイッチング回路をコントロールします。

そして、スイッチング回路から取り出された1ビット信号は、ローパスフィルターネットワークへ送られ、スピーカー駆動用の音声信号として出力されます。



アナログ的な増幅要素をもたず、『高速標準化による1ビット制御信号の生成』と、『サンプリング周波数に同期した1ビット高速スイッチング』により、スピーカー駆動電力が得られるため、動特性と過渡特性に優れ、劣化の少ない増幅動作を可能にしています。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。
その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

 警告	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
 注意	人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

	この記号は、してはいけないことを表しています。
	この記号は、しなければならないことを表しています。
	この記号は、気をつける必要があることを表しています。

警告

指定以外の電圧では使用しないでください。

表示された電源電圧（AC 100V）以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

外国では使用しないでください。

この製品を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用しないでください。
火災・感電の原因となります。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

キャビネットを開けたり、分解や改造をしないでください。

この製品のキャビネットは、開けないでください。
感電やけがの原因となります。内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。
この製品を分解や改造しないでください。
火災・感電の原因となります。

内部に物や水などを入れないでください。

風呂、シャワー室や雨にあたる所、湿気の多い所では使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

 この製品の上や近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。
こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

 万一、内部に水や異物などが入った場合は、電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのままの状態で使用されると、火災・感電の原因となります。

警告

電源コードについて

付属以外の電源コードは使用しないでください。
付属以外の電源コードを使用すると、火災・事故の原因となります。



電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、加工したりしないでください。
また、重い物を乗せたり、加熱したり、引っばったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

タコ足配線はしないでください。
発熱により、火災の原因となります。



電源コードが傷ついたときは（芯線の露出・断線など）、販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

開梱するときや持ち運ぶとき



この製品は約9.0kgと重いため、開梱するときや持ち運ぶときは、必ず2人以上で行ってください。けがや故障の原因となることがあります。
万一、この製品を落としたり、キャビネットを破損した場合は、販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

万一、異常が起きたとき



万一、異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常な状態に気がついたときは、電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて販売店に点検を依頼してください。
異常な状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

雷が鳴り出したとき



雷が鳴り出したら、本体や電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。

内部の温度上昇について



この製品を設置する場合は、壁や他の機器との間隔を離して設置してください。
また、放熱をよくするために、ラックなどに入れるときは、天面、側面ともに10cm以上のすきまをあけてください。
内部の温度上昇により、火災の原因となります。

安全に正しくお使いいただくために

注意

電源コードの取り扱いについて

電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らないでください。
コードを引っばるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



電源コードを熱器具に近づけないでください。
コードの被覆がとけて、火災・感電の原因となることがあります。

コンセントの根元まで差し込んでも、ぐらついたり、プラグやコードが熱いときは
使用しないでください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。



電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
差し込みが不完全ですと発熱したり、ホコリが付着したりして火災の原因となることが
あります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

置き場所について

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたりして、けがや故障の原因となることがあります。

調理台や加湿機のそばなど、油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。
火災・事故の原因となることがあります。



冷気が直接吹きつける所へは置かないでください。
露がつき、漏電・焼損の原因となることがあります。

ホコリの多い所では使わないでください。
放熱が悪くなり、焼損・発火の原因となることがあります。

直射日光が長時間あたる場所や、暖房器具の近くには置かないでください。
キャビネットが変形・変色したり、火災の原因となることがあります。

火気の近くに置かないでください。
故障や事故の原因となることがあります。

製品の上に乗らないでください



踏み台や腰掛けの代わりに使用するなど、製品の上に乗らないでください。
倒れたりこわれたりして、けがの原因となることがあります。
特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。

注意

放熱孔について



この製品は、内部の温度上昇を防ぐために放熱孔を開けています。

この放熱孔をふさぐと放熱が悪くなり、火災の原因となりますので、次のことに注意して、設置してください。

- ・ 風通しの悪い所には置かない。
- ・ じゅうたんや布団の上に置かない。
- ・ カーテンやテーブルクロスなどで放熱孔をふさがない。

設置方法について



チューナーやデッキなど他の機器を、このアンプの上に重ねて使用しないでください。アンプの発生する熱のために、チューナーやデッキなどが正しく動作しなくなったり、アンプが故障する原因となります。

チューナー等に雑音が生じる場合は、この製品と離して設置してください。

移動させるとき



移動させるときは、必ず電源を切り、電源コード、各機器の接続コード、スピーカーコード等を抜いた後、行ってください。

コードを接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

お手入れのときは



安全のため、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。感電やけがの原因となることがあります。

長期間ご使用にならないとき



旅行などで長期間この製品をご使用にならないときは、安全のため、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

機器の接続について



他のオーディオ機器を接続する場合は、必ず電源を切り、各機器の取扱説明書をよく読み、説明にしたがって接続してください。

また、指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

音量調整について



大音量で再生中に万一異音が出た場合は、音量レベルを下げてください。

そのまま使用すると、スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

また、電源を入れる前には、アンプの音量を必ず最小にしてください。

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

安全に正しくお使いいただくために



注意

乾電池の取り扱いについて

乾電池は誤った使いかたをしますと、感電・破裂・発火の原因となることがあります。また、液漏れをして機器を腐食させたり、手や衣類などを汚す原因にもなります。次の点に特に注意してください。

乾電池は幼児の手の届く所に置かない

乾電池を飲み込むと、窒息の原因や胃などに止まると大変危険です。
飲み込んだ恐れがあるときは、ただちに医師と相談してください。

乾電池の液が漏れたときは素手で触らない

- ・乾電池の液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- ・皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起こす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師に相談してください。



乾電池は火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしない また、乾電池は充電しない

乾電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

指定以外の乾電池を使わない

新しい乾電池と古い乾電池または種類の違う乾電池を混ぜて使わない

乾電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

乾電池はプラス ⊕ とマイナス ⊖ の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる

間違えると乾電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



乾電池を使い終わったときや、長時間使わないときは、乾電池を取り出す

乾電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、故障・火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

その他

- ・水に濡らさない
- ・ハンダ付けしない
- ・金属小物（かぎ・装飾品・ネックレス・コイン等）といっしょにポケットやかばんなどに入れない

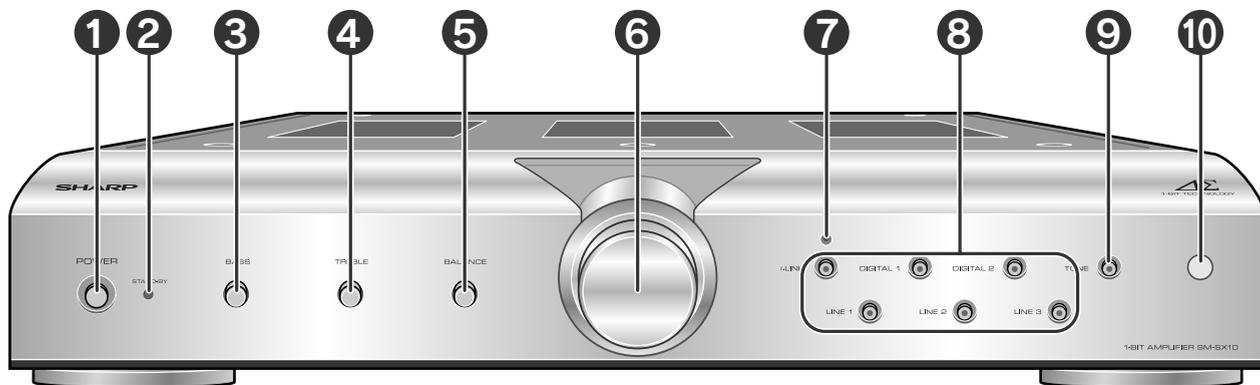


- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあがりの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- お客様または第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

各部の名称と働き (前面)



1BIT AMPLIFIER SM-SX10



① 電源ボタン (POWER)

電源を“入”、“切”するボタンです。

② スタンバイ表示ランプ (STAND-BY)

電源コードを接続すると赤色に点灯します。
電源を入れると消灯します。

③ バス調整つまみ (BASS)

アナログ入力 (LINE1,2,3) 時に、低域の音質を調整するつまみです。

調整するときは、つまみを押して手前に出してください。再度つまみを押しとおさめることができます。

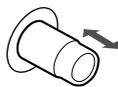


- ⑨ トーン切換ボタン (TONE) が青色に点灯しているときに調節できます。

④ トレブル調整つまみ (TREBLE)

アナログ入力 (LINE1,2,3) 時に、高域の音質を調整するつまみです。

調整するときは、つまみを押して手前に出してください。再度つまみを押しとおさめることができます。



- ⑨ トーン切換ボタン (TONE) が青色に点灯しているときに調節できます。

⑤ バランス調整つまみ (BALANCE)

アナログ入力 (LINE1,2,3) 時に、左右の音のバランスを調整するつまみです。

調整するときは、つまみを押して手前に出してください。再度つまみを押しとおさめることができます。



- ⑨ トーン切換ボタン (TONE) が青色に点灯しているときに調節できます。

⑥ 音量調整つまみ

音量を調整するつまみです。

⑦ i.LINK※1 表示ランプ

i.LINK ケーブルを使って接続した機器と通信可能 (信号伝送可能) 状態になったときに緑色に点灯します。本機が対応していないフォーマットの信号が入力されると点滅します。(P.16 参照)

⑧ 入力切換ボタン (i.LINK/DIGITAL 1/DIGITAL 2/LINE 1/LINE 2/LINE 3)

再生したい機器を選択するボタンです。
選んだ入力切換ボタンの中心が青色に点灯します。

⑨ トーン切換ボタン (TONE)

バス調整/トレブル調整/バランス調整の設定・解除を切り換えます。ボタンの中心が青色に点灯しているときは設定、ボタンの中心が消灯しているときは解除になります。

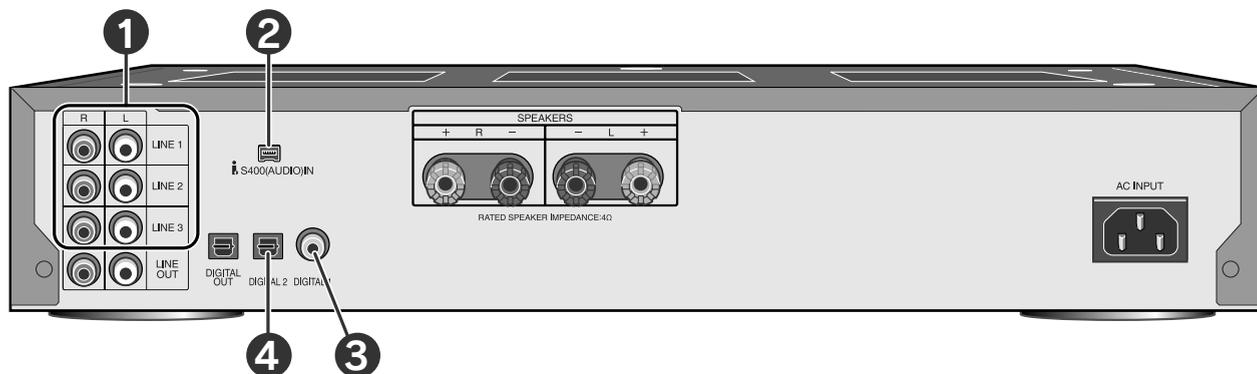
アナログ入力 (LINE 1,2,3) 時にのみ働きます。

⑩ リモコンセンサー

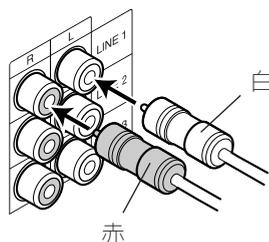
リモコン送信機からの信号を受信します。

※1 :i.LINKについては13~15ページを参照ください。

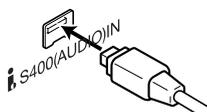
各部の名称と接続 (背面)



- ① ライン1,2,3入力端子 (LINE)** ライン
RCAピンコードを使用して、機器を接続します。



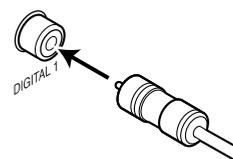
- ② i.LINK※1入力端子** アイリンク
i.LINKケーブルを使用して、機器を接続します。



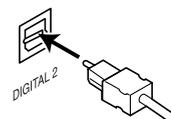
接続ケーブルは、「S400」タイプ (転送速度400Mbps) の4ピンi.LINKプラグのついたケーブルを使用してください。

※ 1 :i.LINKについては13~15ページを参照ください。

- ③ デジタル1入力端子 (DIGITAL 1)** デジタル
RCA同軸ケーブルを使用して、機器を接続します。

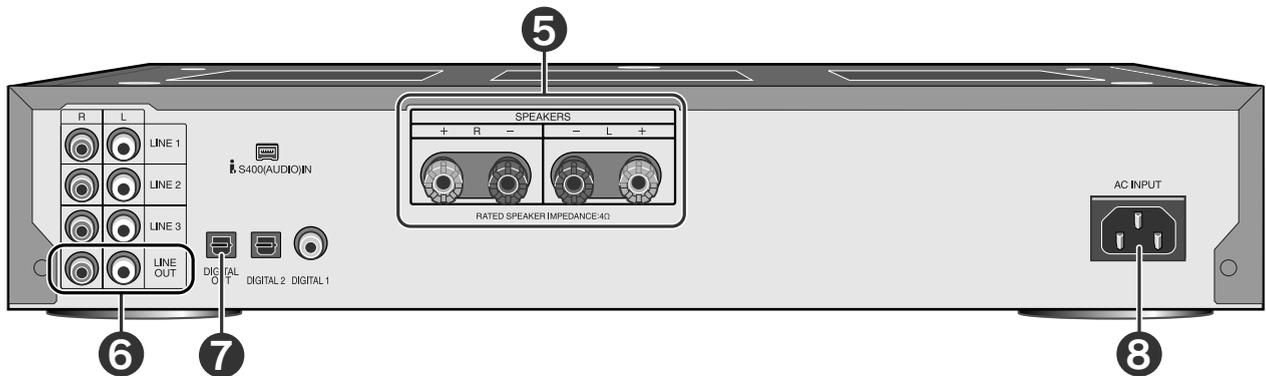


- ④ デジタル2入力端子 (DIGITAL 2)** デジタル
角型光デジタルケーブルを使用して、機器を接続します。



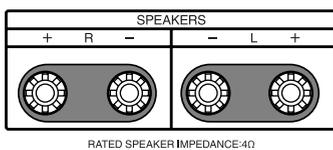
この製品のデジタル1、2入力端子には、デジタルオーディオインターフェースに適合した機器をお使いください。

2チャンネルのリニアPCM信号 (サンプリング周波数: 32 kHz、44.1 kHz、48 kHz、88.2kHz、96 kHz) に対応しています。



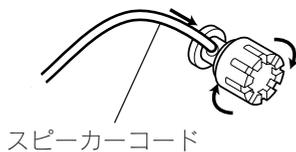
5 スピーカーズ スピーカー出力端子 (SPEAKERS)

右(R)側、左(L)側チャンネルのスピーカー出力端子が横に配置されています。

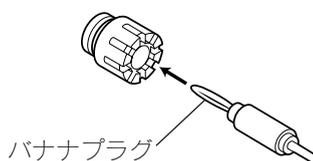


スピーカーシステムの許容入力定格は100W以上、インピーダンスは4Ω以上のものをご使用ください。

接続の際には、スピーカーコードの先端が隣の端子に触れることのないよう、確実に固定してください。

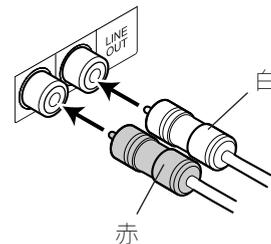


バナナプラグを使用される場合は、接触が確実にできる形状のものをご使用ください。



6 ライン アウト ライン出力端子 (LINE OUT)

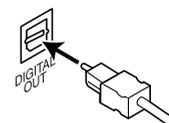
RCAピンコードを使用して、機器を接続します。



ライン1～3入力端子からの信号が出力されます。デジタル1、2入力端子からの信号は出力されません。

7 デジタル アウト デジタル出力端子 (DIGITAL OUT)

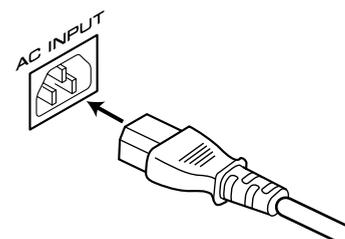
角型光デジタルケーブルを使用して、機器を接続します。



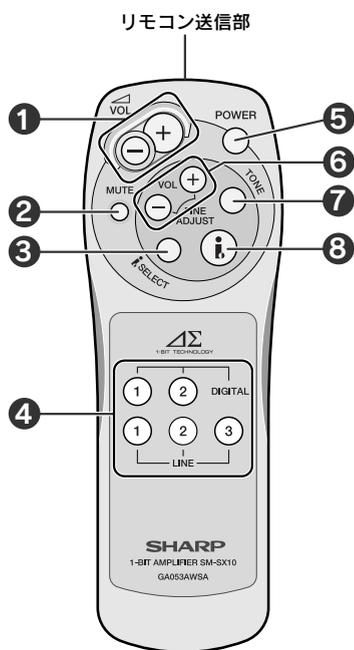
デジタル1、2入力端子からの信号が出力されます。ライン1～3入力端子からの信号は出力されません。

8 インプット 電源入力端子 (AC INPUT)

電源コードは家庭用電源コンセント (AC 100V, 50/60Hz) へ接続してください。



各部の名称と働き (リモコン)



- 1 音量調整ボタン (VOL)** ボリューム
 音量を調整するボタンです。
- 2 消音ボタン (MUTE)** ミュート
 音を一時的に消すボタンです。
 消音時は、音量調整つまみ部の青色照明が点滅します。
- 3 i.LINK 接続機器切換ボタン (i SELECT)** アイリンク
 複数の i.LINK 対応機器が接続されているときに、接続を切り換えるために使用します。
- 4 入力端子切換ボタン (DIGITAL/LINE)** デジタル ライン
 再生したい機器を選択するボタンです。
- 5 電源ボタン (POWER)** パワー
 電源を“入”、“切”するボタンです。
- 6 音量微調整 (FINE ADJUST) ボタン** ファイン アジャスト
 音量を微調整するボタンです。
- 7 トーン切換ボタン (TONE)** トーン
 バス調整／トレブル調整／バランス調整の設定・解除を切り換えます。本体のトーン切換ボタンの表示ランプが点灯しているときは設定、消灯しているときは解除になります。
 アナログ入力 (LINE1,2,3) 時にのみ働きます。
- 8 i.LINK 入力切換ボタン** アイリンク
 入力を i.LINK 接続した機器に切り換えるボタンです。

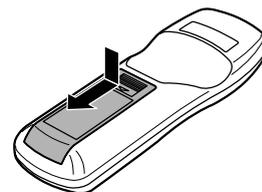
■ リモコンの使いかた リモコンの使える範囲 (目安)



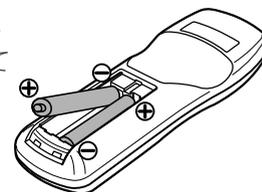
リモコン用乾電池の交換時期は、通常のご使用で1年です。
 リモコンセンサーに近よらないと動作しなくなったときは、乾電池を交換してください。

■ リモコン用乾電池の入れかた

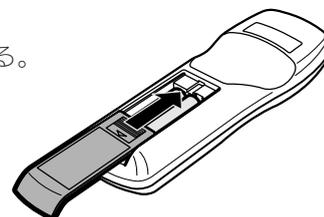
1. 底面のフタを
スライドさせて開ける。



2. 単4乾電池を2本入れる。
 ● 乾電池の方向に注意して入れてください。
 ⊕ ⊖ をまちがえると、故障の原因となります。



3. 底面のフタを
スライドさせて閉める。



ご注意

- リモコンには充電電池 (ニカド電池やニッケル水素電池など) を使用しないでください。充電電池では正しく動作しません。
- リモコンセンサーに強い光があたる場所では使用しないでください。誤動作の原因となります。
- リモコンセンサーや送信部にシールなどを貼らないでください。操作ができなくなります。

■i.LINK (アイリンク) とは

i.LINK端子を持つ機器間で、デジタル音声などのマルチメディア系のデータ転送や、接続した機器の操作ができるシリアル転送方式のインターフェースです。i.LINKケーブル1本で接続することができます。

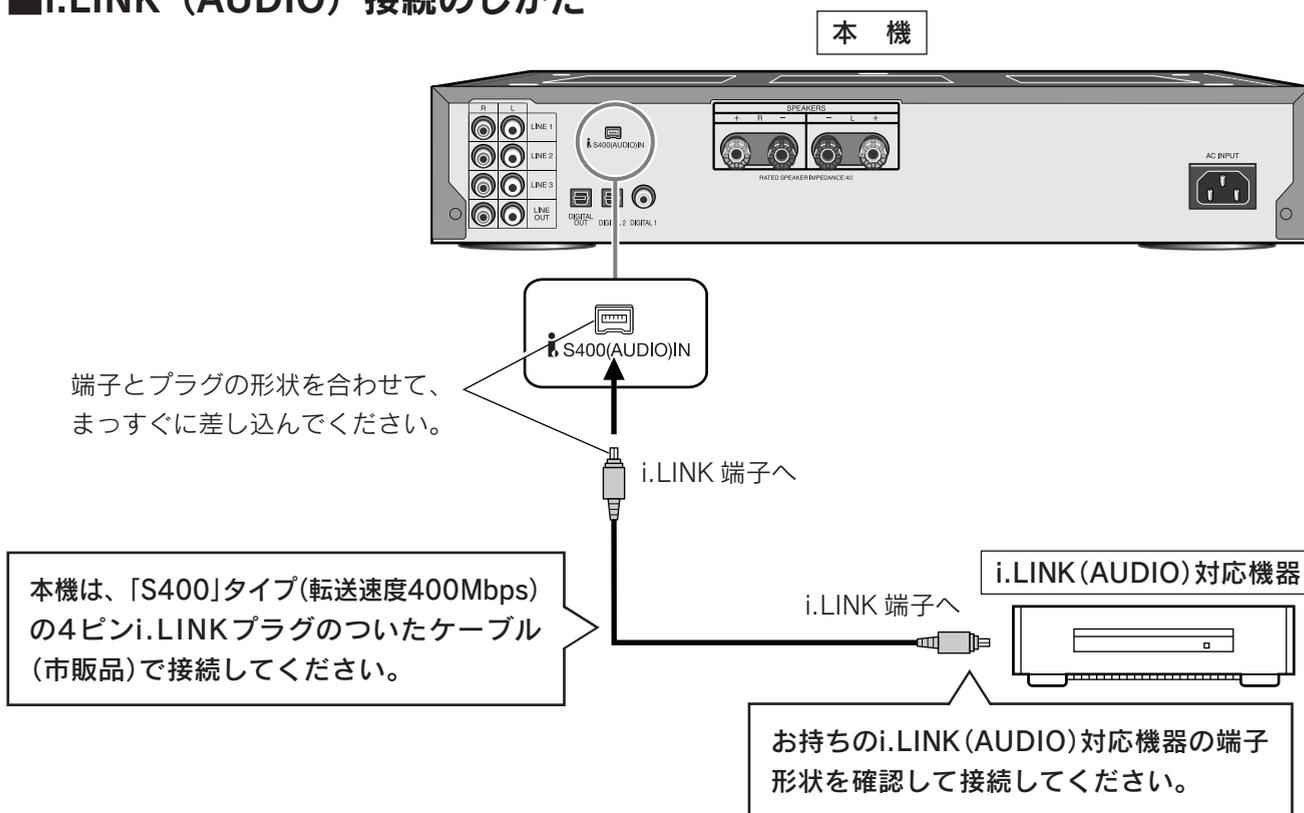
現在、100Mbps/200Mbps/400Mbpsの転送速度があり、本機では最大400Mbpsの転送速度が可能です。

この機器のi.LINKインターフェイスは、以下の規格に基づいて設計されています。

- 1) IEEE Std 1394a-2000, Standard for a High Performance Serial Bus
- 2) Audio and Music Data Transmission Protocol 2.0

この規格のAM824 sequence adaptation layersの中の、IEC60958 bitstream、DVD-Audio および SACDに対応しています。

■i.LINK (AUDIO) 接続のしかた



- IEEE1394は、米国電子電気技術者協会(IEEE)によって標準化された国際標準規格です。
- i.LINK(アイリンク)とi.LINKロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 著作権保護に対応したi.LINK対応機器には、デジタルデータのコピー・プロテクション技術が採用されています。この技術はDTLA(The Digital Transmission Licensing Administrator)というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。このDTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器と搭載していない機器との間では、デジタルデータのやりとりができない場合があります。
- i.LINKはすべての機器間での接続動作が保証されているものではありません。動作の可否は各機器のソフトウェア(OSを含む)およびハードウェアによって規定されます。
- i.LINK接続機器でご使用されるディスクによってはデータ転送ができない場合があります。

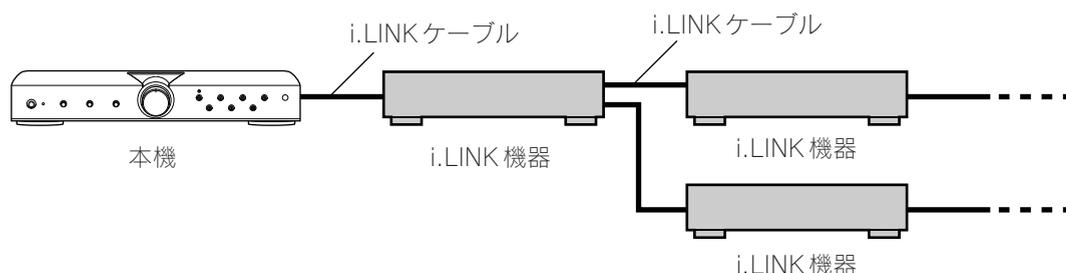
i.LINK(AUDIO)機器の使いかた

i.LINK 機器が 2 台以上するとき

- i.LINK ケーブルを使い、数珠つなぎ（デージー・チェーン）で接続できます。
（i.LINK インターフェイスの規格ではデージー・チェーンで最大 17 台までの接続が規定されています。）

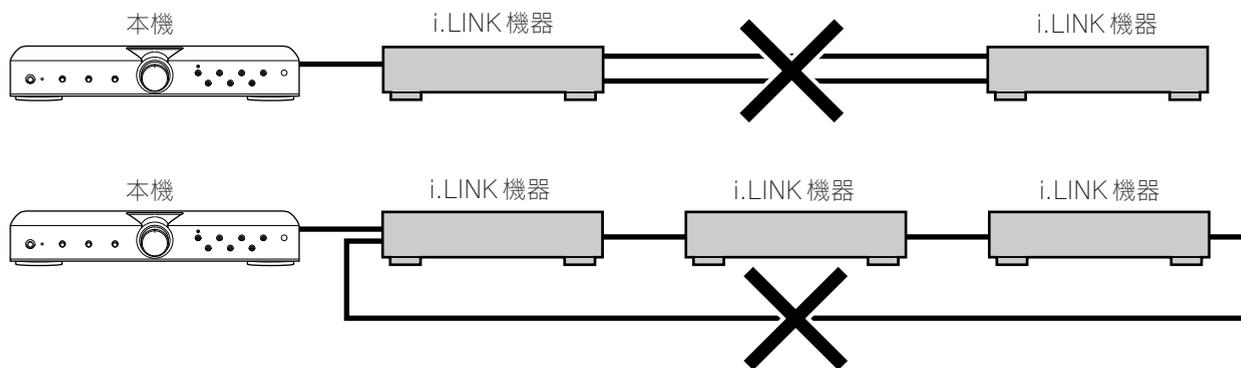


- i.LINK 端子が 3 つ以上ある機器の場合は、分岐をしてつなぐこともできます。
（i.LINK インターフェイスの規格では分岐接続で最大 63 台までの接続が規定されています。）



接続に関するご注意

- 本機との接続の際は、4 ピン i.LINK プラグをもつ「S400」タイプ（転送速度 400Mbps）のケーブルを推奨します。
- 1 本の i.LINK ケーブルは 3.5m 以下のものを使用してください。
- 一部の i.LINK 機器では、その機器の電源が切られているとデータを中継できない場合があります。
- i.LINK 機器使用中は、使用していない i.LINK 機器であっても、ケーブルを抜いたり、電源を切ったりしないでください。音声が悪くなる場合があります。
- 下記のようなループ（輪）接続をしないでください。本機の i.LINK 表示ランプが点滅します。



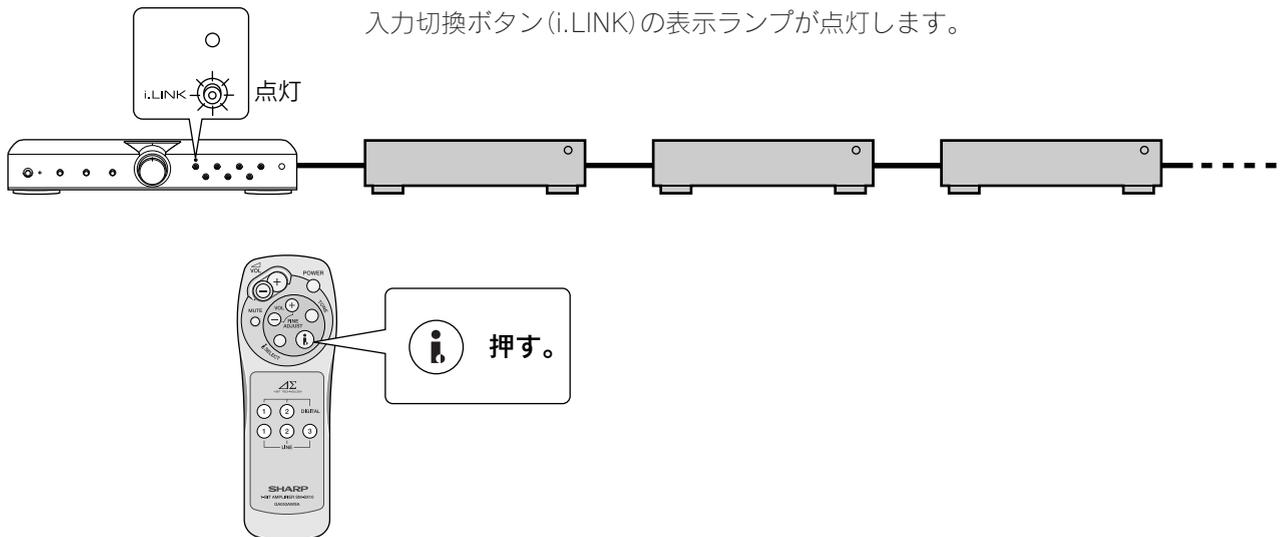
- i.LINK の伝送フォーマットには、本機のような「i.LINK AUDIO (A&M プロトコル)」、BS デジタルのような「MPEG-2 TS」、DVD レコーダーやデジタルビデオのような「DV」といった種類があります。本機では、i.LINK AUDIO (A&M プロトコル) の機器に対応しています。i.LINK AUDIO 以外の機器やパソコン周辺機器を本機と接続したときには、正常に再生することができません。また、誤動作する場合があります。
- i.LINK 機能は、すべての i.LINK 機器の接続・動作を保証するものではありません。
- データやコントロール信号がやりとりできるかどうかは、それぞれの i.LINK 機器の機能によって異なります。くわしくは、接続した i.LINK 機器の取扱説明書をごらんください。

複数のi.LINK(AUDIO)接続機器の切り換えのしかた

1 本機の電源と接続している機器の電源を入れます。

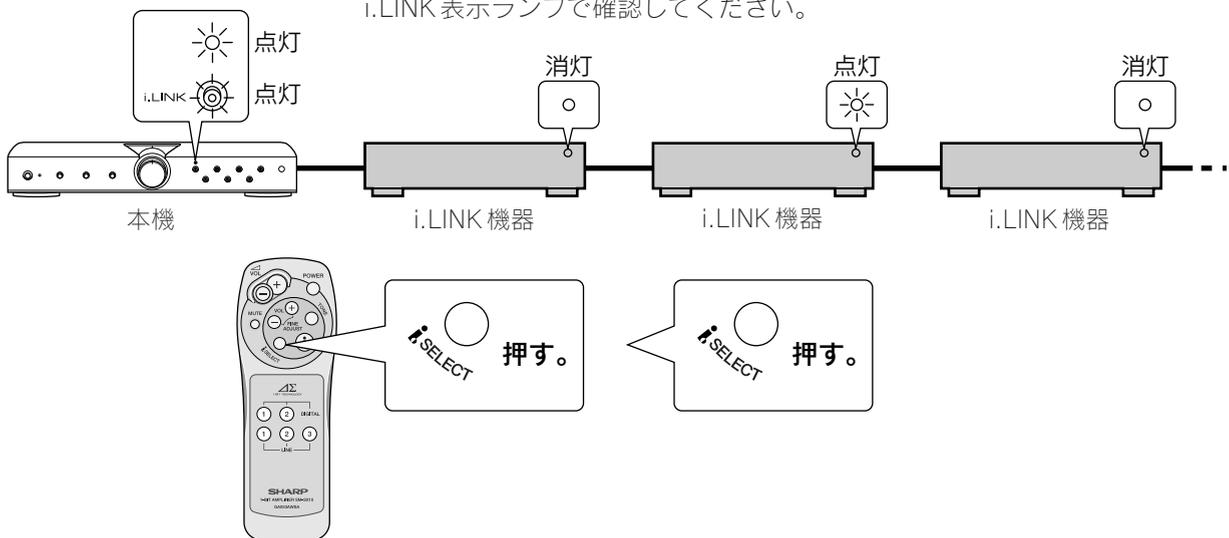
- 一部のi.LINK機器では、その機器の電源が切られているとデータを中継できない場合があります。

2 本体もしくはリモコンのi.LINK入力切換ボタンを押して、入力を「i.LINK」にします。



3 リモコンのi.LINK機器切換ボタン(i.SELECT)をくり返し押して、接続した機器を選択します。

選択しているi.LINK機器を確認するには、接続しているi.LINK機器のi.LINK表示ランプで確認してください。



- i.LINK機器によっては、i.LINK表示ランプがない機器もあります。
くわしくは、i.LINK接続している機器の取扱説明書をごらんください。
- 複数のi.LINK機器を一度に選択することはできません。

「故障かな？」と思ったら

次のようなときは故障でないことがありますので、修理を依頼される前に、もう一度お調べください。
それでも具合の悪いときは、18ページの「保証とアフターサービス」をごらんの上修理を依頼してください。

	原因	対応
電源が入らない	電源コードが正しくつながっていない。	電源コードを正しく接続し直してください。
音が出ない	スピーカーコードが正しくつながっていない。	スピーカーコードを正しく接続し直してください。
	入力切換を間違っている。	聞きたい機器が接続されている入力に切り換えてください。
バス(BASS)、トレブル(TREBLE)、バランス(BALANCE)調整ができない	トーン切換ボタン(TONE)の表示ランプが消灯している。	トーン切換ボタン(TONE)を押して、表示ランプを点灯させたあと、調整してください。
	入力切換がデジタル入力(i.LINK, DIGITAL1, DIGITAL2)になっている。	デジタル入力では、調整できません。
i.LINK 表示ランプが点灯しているが音が出ない	接続した機器が著作権保護 (DTCP) に対応していない。	本機は著作権法 (DTCP) に対応しています。接続した機器の取扱説明書をごらんください。
	接続した機器のi.LINK端子から出力信号が出ていない。	接続した機器の取扱説明書をごらんください。設定を確認してください。
i.LINK 表示ランプが点滅している	本機が対応していない音声フォーマット信号を入力している。	本機が対応している音声フォーマットの信号を入力する。(接続される機器の設定をご確認ください)
i.LINK 表示ランプが消灯して音が出ない	i.LINK ケーブルが外れている。(または切断されている。)	正しく接続する。(正常なケーブルで接続する。)
	規格外のケーブルを使用している。	「S400」タイプ(転送速度400Mbps)の4ピンi.LINKケーブルを使用してください。
	i.LINK ケーブルが長すぎる。	3.5m以下のケーブルを使用する。
	i.LINK AUDIOフォーマットに対応していない機器を接続している。	接続した機器の取扱説明書をごらんください。
	再生している機器と本機との間の機器の電源が切れている。	電源が切れていたり、機種によっては電源がスタンバイ状態の場合、信号を伝送することができません。くわしくは、接続した機器の取扱説明書をごらんください。
入力切換でi.LINKが選べない	i.LINK対応機器の電源が入っていない。	接続した機器の電源を入れる。
リモコンで操作できない。または、正しい動作をしない。	乾電池の⊕⊖の向きが逆になっている。	乾電池を正しく入れ直す。
	乾電池が消耗している。	新しい乾電池と入れ替える。
	リモコンの送信部を本体のリモコンセンサーに正しく向けていない。	リモコンの送信部を本体のリモコンセンサーに正しく向けて操作し直してください。
	リモコンセンサーと距離が遠すぎる。または、近すぎる。	リモコンの使える範囲(目安)内で操作してください。
	リモコンセンサーに強い光(インバーター蛍光灯や直射日光など)があたっている。	リモコンセンサーに強い光(インバーター蛍光灯や直射日光など)があたらないように本機を移動させる。
	他の機器のリモコンを同時に操作している。	本機のリモコンのみ操作する。
リモコンで電源が入らない。	電源コードが正しくつながっていない。	電源コードを正しく接続し直してください。
	乾電池が入っていない。	乾電池を正しく入れる。

■動作に異常が起きたとき

この製品を使用中に、強い外来ノイズ(過大な衝撃、静電気、落雷による電源電圧の異常等)を受けた場合、または誤った操作をした場合に、正しい動作をしなくなるなどの現象が発生することがあります。このようなときは、一度、電源スイッチを“切”にしてください。

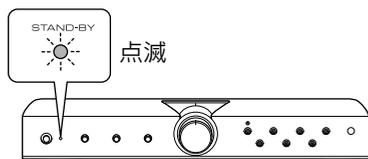
数分時間をおいて電源を入れ、正常な動作に戻ることをご確認ください。
(引き続き異常が発生する場合は、お買いあげの販売店へご連絡ください。)

■ スピーカーコードの接続について

スピーカーシステムは、必ず電源を切った状態で接続してください。

誤ってスピーカーコードをショートさせると、アンプ内の保護回路が働き、一時的に音声が出されなくなります。

保護回路が働いたときは、スタンバイ表示ランプが点滅します。



このときは、一度電源コードをコンセントから抜き、スピーカーコードのショートしている部分を正常にしたあと、再度電源コードを接続し直してください。

その後電源を入れたあと、使用してください。万一、正しく接続してもスタンバイ表示ランプが点滅するときは、お買いあげの販売店へご連絡ください。

■ 音量設定について

電源を入れる前、または入力切換を行う前には、必ず音量を最小にしてください。

突然の大出力により、接続されたスピーカーシステムを破損させる原因となります。

この製品は、徹底的に音質を追求した結果、音の立ち上がり特性を重視した設計としております。したがって、音声を再生していないときでも、一定電圧がかかっており、音量を上げたときと同様の微少な残留音が発生する場合がありますが、異常ではありません。

■ 音のエチケットについて

楽しい音楽も場所によっては気になるものです。ご近所のご迷惑にならないよう、適度な音量でお楽しみください。

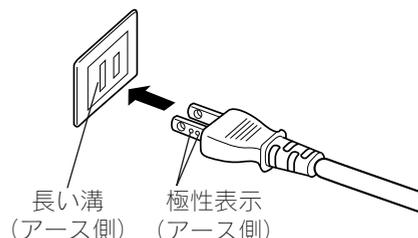
特に、夜間などは小さな音量でも周囲にはよく通るものです。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

■ 電源の極性管理について

この製品は、より良い音質を得るために、電源の極性管理をしています。

電源極性を合わせることをおすすめします。

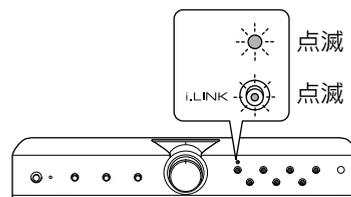
極性管理がされている家庭用電源コンセントに接続する場合は、長い溝（アース側）に、この製品の極性表示（アース側）が合うように接続してください。



極性管理されていない電源コンセントに接続する場合は、電源コードのプラグを逆に差し換えてみる、などの方法で音質の良い方を選択してください。

■ i.LINK表示ランプとi.LINK入力切換ボタンの表示ランプの両方が同時に点滅するときは

接続したi.LINK対応機器によっては、点滅する場合があります。



そのときは、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。（接続できないi.LINK対応機器もあります。）

■ i.LINK表示ランプのみ点滅する場合について

本機が対応していないフォーマットの信号（SACDのマルチチャンネル信号、DVD オーディオのマルチチャンネル信号、DTS、AAC、AC-3等圧縮信号）が入力された場合に点滅します。

■ i.LINK入力切換ボタンの表示ランプのみ点滅する場合について

i.LINK対応機器間の接続において、伝送容量や接続機器数が規定値を越えたり、ループ接続になっている場合に点滅します。

お手入れ / 仕様

■ お手入れ

お手入れする前には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

この製品の汚れは、やわらかい布で軽く拭き取ってください。

汚れがひどいときは、水にひたした布をよくしぼって拭き取り、乾いた布で仕上げてください。

ベンジンやシンナー、アルコールなどの化学薬品は使わないでください。また、殺虫剤などの揮発性のあるものをかけないでください。

表面の仕上げをいためたり、変色の原因となることがあります。



■ 仕様

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

定格出力	: 100W+100W (4Ω負荷、1kHz時)
周波数特性	: 10Hz~100kHz (+0dB、-5dB)
全高調波歪	: 0.05% (1kHz、1W出力時)
ダイナミックレンジ	: 96dB
A/D ノイズ	
シェーピング	: 7次 $\Delta\Sigma$ 変調
入力端子	: i.LINK入力端子 × 1 RCA同軸デジタル入力 × 1 角型光デジタル入力 × 1 RCAアナログ入力 × 3ペア
出力端子	: 角型光デジタル出力 × 1 RCAアナログ出力 × 1ペア
その他の端子	: ACソケット (100V AC) × 1
定格電圧	: 100V AC、50/60Hz
定格消費電力	: 110W
最大外形寸法	: 430(幅)×90(高さ)×454(奥行)mm
質量	: 約9.0kg
リモコン	: DC3V (付属単4乾電池 × 2)

保証とアフターサービス

■ 保証書 (別添)

保証書は「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

保証期間

お買いあげの日から1年間です。保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

■ 補修用性能部品の保有期間

- 当社は、1ピットアンプの補修用性能部品を、製品の製造打切後8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口 (19ページ) にお問い合わせください。

愛情点検 	長年ご使用のオーディオ機器の点検を!	
	このような症状はありませんか?	●電源コードやプラグが異常に熱い ●コゲくさい臭いがする ●電源コードに深いキズや変形がある ●その他の異常や故障がある

ご使用中

故障や事故防止のため、電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は、販売店にご相談ください。

■ 修理を依頼される場合は (出張修理)

「故障かな?」と思ったら (16ページ) を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

品名	: 1ピットアンプ
形名	: SM-SX10
お買いあげ日	(年月日)
故障の状況	(できるだけ具体的に)
ご住所	(付近の目印も合わせてお知らせください。)
お名前	
電話番号	
ご訪問希望日	

便利メモ お客様へ...
お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年 月 日	電話 () -

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できるときには、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

お客様ご相談窓口のご案内



1BIT AMPLIFIER SM-SX10

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店へご連絡ください。

転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

- 製品の故障や部品のご購入に関するご相談は・・・ **修理相談センター** へ
- 製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は・・・ **お客様相談センター** へ

修理相談センター

● 修理相談センター（沖縄・奄美地区を除く）

■ 受付時間：*月曜～土曜：午前9時～午後6時 *日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）



0570-02-4649

当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
〔注〕 PHS・IP電話からは、下記電話におかけください。

○ PHS / IP電話でのご利用は……	(一般電話)	<東日本地区> 043-299-3863	<西日本地区> 06-6792-5511
○ FAXを送信される場合は……	(FAX)	043-299-3865	06-6792-3221

○ 沖縄・奄美地区については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。

◎ **持込修理 および 部品購入のご相談** は、上記の「修理相談センター」のほか、下記地区別窓口にも承っております。

■ 受付時間：*月曜～土曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）
〔但し、沖縄・奄美地区〕は……*月曜～金曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

担当地域	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道地区	札幌サービスセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北地区	仙台サービスセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
関東地区	さいたまサービスセンター	048-666-7987	〒331-0812	さいたま市北区宮原町2-107-2
	宇都宮サービスセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
	東京テクニカルセンター	03-5692-7765	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17
	多摩サービスセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
	千葉サービスセンター	047-368-4766	〒270-2231	松戸市椚台295-1
	横浜テクニカルセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23
東海地区	静岡サービスセンター	0543-44-5781	〒424-0067	静岡市清水鳥坂1170-1
	名古屋サービスセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市中川区山王3-5-5
北陸地区	金沢サービスセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚4-103
近畿地区	京都サービスセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	大阪テクニカルセンター	06-6794-5611	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	阪神サービスセンター	06-6422-0455	〒661-0981	兵庫県尼崎市猪名寺3-2-10
中国地区	広島サービスセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
四国地区	高松サービスセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
九州地区	福岡サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井田2-12-1
沖縄・奄美地区	那覇サービスセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曙2-10-1

● 所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。

お客様相談センター

■ 受付時間：*月曜～土曜：午前9時～午後6時 *日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

0120-078-178

○ フリーダイヤルがご利用いただけない場合は…

東日本相談室	TEL 043-351-1821	FAX 043-299-8280
	〒261-8520	千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
西日本相談室	TEL 06-6792-1582	FAX 06-6792-5993
	〒581-8585	大阪府八尾市北亀井町3-1-72

● FAX送信される場合は、お客様へのスムーズは対応のため、形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。
● 所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。

● 製品についてのお問い合わせは・・

お客様相談センター  0120-078-178	フリーダイヤルがご利用いただけない場合は		
	東日本相談室	TEL 043-351-1821	FAX 043-299-8280
	西日本相談室	TEL 06-6792-1582	FAX 06-6792-5993

《受付時間》 月曜～土曜：午前9時～午後6時 日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

● 修理のご相談は・・ 19 ページ記載の『お客様ご相談窓口のご案内』をご参照ください。

● シャープホームページ <http://www.sharp.co.jp/>

シャープ株式会社

本 社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号
AVシステム事業本部 〒329-2193 栃木県矢板市早川町174番地